

**【第311号 紙面案内】**

第2面……常任理事会報告

第3面……第77回全国研究大会プログラム

第5面……第77回全国研究大会募集

第6面……各分会・事務局より

回顧と展望

会長 柿崎 洋一 (東洋大学)

会長としての任期を終えるにあたって、日本における学会活動の厳しさを感じています。本学会は、産学一体を基本として経営学の実践学を探究し、その成果を社会に還元する使命を持って設立されました。しかし、現状は理論的にも、実践的にも十分に貢献しているかと問われれば、道半ばといわざるを得ません。産業界、学界ともに技術革新の波と社会・環境変化の中で、次世代の経営像を模索しています。まさに日本の学会においては、高度成長期から持続可能な発展の段階に入ったことは確実であります。本学会でも、会員数の減少を受けて財政改革に待たなしで取り組み、より効果的、効率的な運営が求められています。6月の総会では、一つの方向性を提示し、会員各位のご支援をいただきたいと考えております。

本学会の今後の運営については、インターネットなどのITを活用した省力化などの消極的な措置に止まらず、産業界への働きかけの工夫などの積極的な措置も実施することになります。本学会においても健全な財政基盤の上に研究成果を積み重ねる努力が求められています。すでに、学界の運営はペーパーレスの傾向を強めており、本学会でも不可避であります。同時に、本学会の特色である実践学としての経営学をより一層研究し、学問的にも産業界への貢献という意味でも真摯に推進してゆくことが基本となります。この意味では、本学会の一層のオープン化とともに、創立者である山城章先生の学問論から企業体制論、経営者論、経営教育論、日本の経営論、さらに国際経営論などを今日的な経営問題に関連づけながら再考し、新たな展開を実現することが大切であると考えています。

以前、フランクフルト大学でのドイツ経営学会 (Der Verband der Hochschullehrer für Betriebswirtschaft e.) に参加した時、産学連携の伝統を持つ学会運営に驚いたことがあります。こうした産学連携は、わが国の大学でも推進されていますが、いまだ規制緩和の枠の中です。学会でも産業界でも相互認識という点で隔たりがあります。本学会の基本である産学一体を推進するには、産学連携、産学一体そのものの経営学に関する研究が活発に展開されることが求められているといえます。産学連携、産学一体が単なる「結びつき」に止まることなく、産学連携、産学一体そのものが独自の意味をもつには何が必要かを真摯に研究する

必要があると考えています。今やあらゆるもの、ことが結び付けられる時代になりつつあります。しかし、このような「結びつき」が意味ある「結びつき」となるためには「自主性」の概念が不可欠であると思っています。そこには、「経営自主体論」とでもいうべき原理が同時に研究されなければなりません。

退任するにあたり、会員各位と役員各位、そして事務局のご尽力に感謝するとともに、今後本学会の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第 77 回全国研究大会（日本大学）の会員総会（6 月 23 日土曜日）において新理事の選挙が実施されます。会員各位におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

常任理事会報告

1. 日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土）
2. 時 間：13:00 ～ 14:30
3. 場 所：株式会社山城経営研究所 会議室
4. 議 題：
 - 1) 第 77 回全国研究大会（於、日本大学）について
日本大学商学部において 2018 年 6 月 22 日（金）から 24 日（日）まで開催される第 77 回全国研究大会の統一論題は「規制産業におけるイノベーションマネジメント～医療・教育分野の新潮流～」とすることが報告・承認された。また、各セッションの準備状況について報告がなされた。
 - 2) 今年度（平成 29 年度）の活動経過報告及び来年度（平成 30 年度）の活動計画概要について（各委員会、各地方部会、各研究部会）
各委員会、各地方部会、各研究部会の活動報告がなされた。
 - 3) 会員の入退会の承認について
入会（個人 4 名）、退会（個人 22 名）が承認され、合計（個人 613 名、法人 5 社）となったことが報告された（平成 30 年 3 月 3 日現在）。
 - 4) その他
経営理念研究部会の設立が提案され了承された。
第 78 回全国研究大会が 2018 年 10 月 19 日（金）から 21 日（日）に常葉大学で開催される予定であることが報告された。

以 上

第77回 日本マネジメント学会全国研究大会プログラム

統一論題 「規制産業におけるイノベーションマネジメント～医療・教育分野の新潮流～」
会 場 日本大学商学部

【第1日 2018年6月22日(金)】

14:00～16:00 企業訪問 株式会社金冠堂（三軒茶屋本社） 現地集合（1階受付 14:00）

17:00～18:30 理事会 日本大学 商学部 本館3階31会議室

【第2日 2018年6月23日(土)】

9:00 受付（2号館2階：100周年記念講堂前）

9:30 開会挨拶

①日本マネジメント学会 会長 柿崎洋一

②大会長 高橋淑郎

9:40～12:10 統一論題セッション

（課題提起15分 報告：40分 指定討論：各15分 討論50分 計150分）（100周年記念講堂）

9:40～12:10	統一論題セッション1 【医療と医療経営のイノベーションの新潮流】		
	課題提起：「非営利組織としての病院経営を整理する」 高橋淑郎氏（日本大学）		
	報告テーマ・報告者：「戦略的病院経営への変革のプロセス」 北島明佳氏（医療法人社団 元気会横浜病院 理事長）		
	シンポジウム1（指定討論者）		
	(1)「地域密着有床診療所から：医療法人社団太陽会かりまた内科」 狩俣一郎氏（理事・事務長）		
	(2)「小規模技術特化単科病院から：医療法人社団北腎会坂泌尿器科病院」 坂俊英氏（理事・事務長）		
	(3)「地方急性期病院から：医療法人社団函館脳神経外科病院」 西谷啓太氏（理事・事務長）		
	司会者：佐藤貴一郎氏（前国際医療福祉大学） 高橋淑郎氏（日本大学）		

12:10～13:00 休 憩（2206教室）

13:00～15:10 自由論題報告（各報告 報告：25分 コメント及び質疑：15分 計40分）

13:00～13:40	A会場（2201教室） （自由論題）	B会場（2202教室） （自由論題）	C会場（2203教室） （国際セッション）
報告者	柴田仁夫氏 （埼玉学園大学）	草野千秋氏 （文京学院大学）	Han, Kil-Seok (Chonbuk National University) and Koh, Woo (Chonbuk National University)
報告テーマ	中小企業の採用マーケティングの方向性	組織行動アプローチによるチーム医療のコミュニケーション構造への接近	The Influence of Managerial Overconfidence on Earnings management
コメンテーター	小嶋正稔氏 （東洋大学）	當間政義氏 （和光大学）	—
司会者	竹内進氏 （目白大学）	佐藤一義氏 （立正大学）	細萱伸子氏 （上智大学）

13:45 ~ 14:25	(自由論題)	(自由論題)	(国際セッション)
報告者	檀田智子氏 (福山市立大学)	木下耕二氏 (東洋大学)	Sawng, Yeong-Wha (Konkuk University) and Lee, Sangic (Republic of Korea Naval Academy)
報告テーマ	就労妊婦の労務管理に関する一試論	戦略のダイナミズム概念に基づくダイナミック・ケイパビリティ定義の検討	Foresight of Promising Technologies for Smart Convergence Service by Big Data based Patent Analysis: Focused on the Healthcare-IoT Convergence Service
コメンテーター	池田玲子氏 (羽衣国際大学)	松村洋平氏 (立正大学)	—
司会者	後藤浩士氏 (保健医療経営大学)	佐々木利廣氏 (京都産業大学)	細萱伸子氏 (上智大学)
14:30 ~ 15:10	(自由論題)	(自由論題)	(山城賞受賞論文発表)
報告者	河内満氏 (広島修道大学)	田中克昌氏 (東洋大学)	柴田仁夫氏 (埼玉学園大学)
報告テーマ	ビジネス教育論と利潤追求	イノベーションの主体を転換する共創プラットフォーム	山城賞受賞論文
コメンテーター	河合博子氏 (高崎商科大学)	清水健太氏 (松蔭大学)	—
司会者	亀倉正彦氏 (名古屋商科大学)	梅田勝利氏 (九州共立大学)	松本芳男氏 (中央学院大学) 山城賞委員会委員長

15:20 ~ 16:40 会員総会 (100周年記念講堂)

16:50 ~ 18:00 特別講演 (100周年記念講堂)

講演テーマ・講演者：「NTTの事業戦略 —健康・医療×ICTを中心に」
是川幸士氏 (日本電信電話株式会社 理事)
司会者：児玉充氏 (日本大学)

18:10 ~ 懇親会 (カフェテリア・アゼリア)

【第3日 2018年6月24日(日)】

9:00 受付 (2号館2階：100周年記念講堂前)

9:20 ~ 10:35 統一論題セッション (報告：40分 討論 35分 計 75分) (100周年記念講堂)

9:20 ~ 10:35 統一論題セッション2 【イノベーション経営の実践(1)】

報告テーマ・報告者：「福井県済生会病院の経営改革」
登谷大修氏 (社会福祉法人恩賜財団福井県済生会病院 院長)

シンポジウム2 コーディネーター：明石純氏 (関西学院大学大学院) 司会者：高橋淑郎氏 (日本大学)

10:45 ~ 12:00 統一論題セッション (報告：40分 討論 35分 計 75分) (100周年記念講堂)

10:45 ~ 12:00 統一論題セッション3 【イノベーション経営の実践(2)】

報告テーマ・報告者：「ダイナミック・ケイパビリティとイノベーション ～アクションリサーチからのレッスン」児玉充氏 (日本大学)

シンポジウム3 コーディネーター：坂本義和氏 (日本大学) 司会者：松本芳男氏 (中央学院大学)

12:00～13:00 休憩 (2206 教室)

13:00～15:00 統一論題セッション (報告:各40分 討論40分 計120分) (100周年記念講堂)

13:00～15:00 統一論題セッション4 【教育の破壊的イノベーション】

報告テーマ・報告者(1):「ITは日本の高等教育に破壊的イノベーションをもたらすか？」
常盤祐司氏 (法政大学情報メディア教育研究センター)

報告テーマ・報告者(2):「ICT利用によって教育の質を改革できるか？」
斎藤正武氏 (中央大学商学部)

シンポジウム4 コーディネーター:山本篤民氏 (日本大学) 司会者:児玉充氏 (日本大学)

15:10 閉会 閉会挨拶 日本マネジメント学会組織委員長 亀川雅人

第77回全国研究大会・自由論題報告募集

平成30年10月19日(金)～21日(日)に常葉大学において開催される第78回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

1. 応募資格

本学会の会員。但し、第77回全国研究大会・自由論題として報告された方の応募はご遠慮下さい。

2. テーマ

本学会の目的に沿う以下のもの。

- ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
- ・日本的経営および国際的経営の研究
- ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

3. 応募書類

応募には応募用紙の記入が必要です。日本マネジメント学会ウェブサイトより応募フォーマットをダウンロードし、注意事項を読んで原稿を作成し下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

4. 締切

平成30年6月29日(金)必着

5. 応募先・問い合わせ先

日本マネジメント学会事務局 (担当:武市)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36 S&Sビルディング 3F

株式会社山城経営研究所内

TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233 E-Mail: name@kae-yamashiro.co.jp

◇◇平成28年度第2回関東部会開催報告◇◇

下境 芳典（東北大学大学院）

平成30年3月17日（土）14:30より平成30年度第3回関東部会が立正大学品川キャンパスにおいて開催された。

第1報告は木下耕二氏（東洋大学大学院）による「ダイナミック・ケイパビリティ構築におけるミドルマネジメントの貢献研究に向けた概念整理」、司会は清水健太氏（松陰大学）、コメンテーターは松村洋平氏（立正大学）であった。企業の継続的な競争優位の獲得のための方策について、先行研究の取りまとめと、今後行われる調査分析の枠組みが説明された。研究が順調に進捗し、結果の報告が期待される。

第2報告は大野和巳氏（文京学院大学）による「M&A戦略とビジネスモデル」、司会は當間政義氏（和光大学）、コメンテーターは中村公一氏（駒澤大学）であった。本発表は長年にわたるM&A研究の中間まとめ的なもので、M&Aの類型化とそれぞれの事例などが紹介された。特に議論が交わされたのは、従来ならば業務提携と考えられるような非統合型の形態についてであった。また、質疑においてはM&Aの目的が時代とともに変わってきていることも指摘された。

第3報告は川野祐二氏（下関市立大学）による「非営利法人における「創業者統治」の概念整理とガバナンス問題」、司会は田中信弘氏（杏林大学）、コメンテーターは宮川満氏（立正大学）であった。川野氏は昨年度の全国大会でも報告をされており、今回はそこでの質疑で答えきれなかった部分に関して改めて説明すべく、遠方からいらしてくれた。株式会社形態とは異なる非営利法人の創業者統治について、多くの実務経験に裏打ちされた理論が展開された。

今回の発表はテーマがバラエティに富み、聞きごたえのあるものであった。一部の報告の質疑では、制限時間を超過するほど活発な議論がなされ、会議場の施錠時間をオーバーしてしまい、主催大学には迷惑がかかってしまったのではないかと心配するところもあるが、参加者にとっては意義深い報告会であった。

◇◇中部部会・開催報告◇◇

水野 清文（九州共立大学）

日本マネジメント学会中部部会では、第57回中部部会を、経営行動研究学会、経営哲学学会との3学会合同により開催予定です。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日時：平成30年5月26日（土） 13:30～17:30

●場所：中京大学 名古屋キャンパス センタービル

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2

Tel 052-835-7111（地下鉄鶴舞線『八事』駅5番出口前）

※駐車場は利用できませんので公共交通機関をご利用下さい。

●プログラム（コメンテーターは現在のところ未定）

報告（報告35分、コメント10分、質疑15分）

第1報告：13:30～14:30 浅井 紀子（中京大学）

「日本流イノベーションにみる成長の軌跡の強靱性と脆弱性」

< 20分休憩 >

第2報告：14：50～15：50 水野 清（愛知学泉大学）

「マネジメントシステムの普及と制度化 ―制度派組織論アプローチ―

< 20分休憩 >

第3報告：16：10～17：10 東 俊之（長野県立大学）

「伝統のマネジメント」に関する一試論

―地域経営における“伝統”の創造・維持を中心に―

議 事：17:10～17:30

中部部会会長 蕎麦谷 茂（名古屋外国語大学）

参加費：研究会費 500 円、懇親会費 3,000 円

（懇親会会場：中京大学センタービル 2 階教員食堂）

お問い合わせ：日本マネジメント学会中部部会長・蕎麦谷茂

（TEL：0561-74-1111 E-mail：sobatani@nufs.ac.jp）

詳細につきましては、中部部会事務局・水野清文

E-mail kiyofumi-070221@alto.ocn.ne.jp

FAX 093-693-3217（九州共立大学 水野研究室）

TEL 090-6768-4512（水野携帯）

までお問い合わせください。

◇◇中部部会からのお知らせ◇◇

水野 清文（九州共立大学）

中部部会では随時報告者を募集しております。

ご希望の方は中部部会部会長・蕎麦谷 茂（名古屋外国語大学 〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 TEL：0561-74-1111 E-mail：sobatani@nufs.ac.jp）

または、中部部会事務局・水野 清文（水野携帯：090-6768-4512 E-mail：kiyofumi-070221@alto.ocn.ne.jp）までお問い合わせください。

◇◇中国・九州部会報告◇◇

九州共立大学 梅田 勝利

平成30年3月25（日）18:00より2時間余りに渡り、中国・九州部会が開催されました。場所は、福岡の中心部にあるアクロス福岡で行われ、3月末という忙しい中、2件のご報告で盛り上がりました。会長挨拶の後、第一報告は、富山禎信氏（東筑紫短期大学）による「中小企業における離職抑制方法としてのフォレット管理論」、第二報告は新規加入申請中の國崎歩氏（日本薬科大学非常勤講師）による「エコ商品の購買における消費者のライフスタイルと有効性評価に関する一考察」というご報告でした。

3月末でしたが、十数名の会員の皆様にお越しいただき、お二人の先生の貴重なご報告に対して、色々な質問があり、有意義な時間を過ごすことができました。部会の後は、近隣の「伊都の恵み た鶴」でさらに皆さんで懇親を深めることができ、次回の部会の時期等についても話題が出るほど積極的な会となりました。

次回はさらに若手の皆様のご報告を期待しております。

新年度(平成30年度)会費及び過年度未払会費のご請求について

4月からの新年度のスタートに伴って、平成30年度会費をご請求致しますので、宜しく
お願い申し上げます。

- 1) 会費のご請求に当っては、5月度会報と合わせて請求書をご送付しますので、学会会則
に明記されている支払期限(6月30日)を遵守のうえご送金下さい。
- 2) 過年度(平成29年度)会費を未払いの会員の方については、平成30年度会費と合わせ
てご請求させていただきます。

学会の運営は、会員の皆様方の会費によってのみ賄われていると言っても過言ではありま
せんので、財源確保のためにも皆様方のご協力を切にお願い致します。

住所変更・勤務先変更等のご連絡のお願いについて

新年度(平成30年度)のスタートは、勤務先変更や転居等が行われることが多い時期ですが、
勤務先・連絡先変更や住所変更等の異動情報がある場合は、メールやゆうちょ銀行の払込取
扱票の通信欄への記載等により速やかに事務局までご連絡をお願い申し上げます。

時期を問わず、異動情報のご連絡を頂けないと、会員名簿の更新、会報・機関紙のご送付、
会員データの更新・維持管理に大変支障が出ますので、会員の皆様方のご協力を切にお願い
致します。

会員の最新刊著書を紹介します

- (1)佐竹恒彦著『再生型リーダーシップ論—経営不振の中小企業に有効な
経営理念創成のプロセスモデル』 同文館出版(株) 3,200円+税
- (2)須田敏子著『組織行動 理論と実践』 NTT出版(株) 2,800円+税
- (3)當間政義編『マネジメントの基礎—企業と地域のマネジメント考—』
株五絃舎 1,800円+税

※会員の皆様の最新刊著書を紹介しますので、事務局へ献本(1冊)をお願い致します。

編集後記

現体制での会報発行の担当も今号が最後となりました。ご協力賜りました関係各位に厚
く御礼申し上げます。誠に有難うございました。 (会報委員会委員長：鈴木 岩行／

副委員長：小野瀬 拓／委員：大塚 知弘／委員：清水 健太／委員：藤井 辰朗)

発行 日本マネジメント学会
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内(担当：武市)
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: http://www.nippon-management.jp/
印刷 株ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp